

第6次山形県教育振興計画（案）の前回検討委員会からの主な修正点

全体構成【資料2関係】

① テーマ、目指す人間像の見直し

	見直し前	見直し後
テーマ	学び続け、地域とつながり、そして「いのち」をつなぐ	「つなぐ」 ～いのち、学び、地域～
人間像	いのちをつなぐ人、学び続ける人 地域とつながり続ける人	いのちをつなぐ人、学び続ける人 地域とつながる人

② 基本方針「郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する」の順番を、ⅡからⅦに繰り下げ

③ 主要施策を見直し、26本から20本に再編統合

6教振本文【資料3関係】

◆ 総括的事項

① グラフや表の削除、取組みの統廃合等により、全体をスリム化。

前回 139 頁 → 今回 98 頁 （参考：5 教振の本文は 134 頁）

② 主要施策ごとに取組みの成果を計るための目標指標を記載。但し、目標値は別途検討。

◆ 計画期間の見直し

教育委員会制度改革に伴い首長が策定する「教育等の振興に関する大綱」の計画期間（4～5年）との整合性を踏まえ、6教振の計画期間を見直し

（見直し前）策定から平成36年度までのおおむね10カ年

（見直し後）考え方 ➢ 10年間を通じて目指す姿を提示しつつ、計画期間（主要な施策）は5年間

◆ 施策の追加・修正（主なもの）

(1) 主要施策 7 確かな学力の育成

本県児童生徒の学力の現状を踏まえ、確かな学力の育成に関連する施策を充実

① 確かな学力の育成 ～「習得」そして「探究」へ～

- ・ 知識技能の「習得」のみならず「探究」型の学習を重視していくことを新たに盛り込み、「小中高を通じた『探究型学習』の推進と評価・検証」を追加。小・中・高の取組みを充実

② 理数教育の推進

- ・ 主要施策8から移動するとともに、「探究型学習」推進に向けて取組みを充実

(2) 主要施策 8 変化に対応する実践的な力の育成

① グローバル化に対応した英語教育の推進

- ・ 国の英語教育改革実施計画を踏まえ、取組みを充実（小中高大連携、教員の英語力向上 等）

(3) 主要施策 9 社会的自立に向けた勤労観・職業観の育成

- ・ 児童生徒の将来の夢や目標に関するデータ、ミスマッチ抑制のための丁寧な就職指導を追加

(4) 主要施策11 信頼される学校づくりの推進

- ・ 教員の多忙化解消、経営能力に優れた管理職の登用 を追加

(5) 主要施策16 学校と家庭・地域の連携・協働の推進

- ・ 取組み全体を再構成。学校と家庭・地域が連携・協働する仕組みとして「山形方式の総合的な地域本部」を新たに提案。併せて、取組みとして「土曜日の教育環境の整備」を追加

(6) 主要施策18 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

- ・ 取組み全体を再構成。生涯学習推進の環境整備の観点から、公民館等を拠点とした学びと実践の循環、社会教育関係職員の育成、青少年教育施設の充実を他から移動し、取組みを充実。

★ 上記以外にも、検討委員会等のご意見を踏まえ、取組みや文言等を追加・修正しています。